



2019年4月10日

各位

会社名 株式会社ヤマザワ
 代表者名 代表取締役社長 古山 利昭
 (コード：9993、東証第一部)
 問合せ先 取締役管理本部長
 兼 総務部長 佐藤 慎三
 (TEL. 023-631-2211)

業績予想の修正及び配当予想の修正（減配）に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2019年2月期（2018年3月1日～2019年2月28日）の連結業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年2月期 通期連結業績予想数値の修正（2018年3月1日～2019年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 111,500	百万円 350	百万円 400	百万円 130	円 銭 11.94
今回修正予想 (B)	110,688	220	283	△245	△22.50
増減額 (B-A)	△812	△130	△117	△375	
増減率 (%)	△0.7	△37.1	△29.3	—	
(ご参考) 前期実績 (2018年2月期)	114,303	1,159	1,231	389	35.74

2. 業績予想の修正の理由

当連結会計年度におきましては、来店客数の減少が依然として継続したことや、スーパーマーケット事業において不採算店舗を2店舗閉店したことにより、売上高が当初の予想を下回る見通しとなりました。また、客数減少への対応として商品の販売価格を抑えたことや、仕入価格・原材料の値上げがあり、売上高の減少と比して売上原価が高止まりしたことで売上総利益が当初の予想を下回る見通しとなりました。販売費及び一般管理費について管理運営面の経費をはじめとした見直しを進めておりますが、売上総利益の減少をカバーする水準に至らず、営業利益、経常利益が当初の予想を下回る見通しとなりました。加えて、特別損益について、収益性が低下した店舗等へ適用する減損損失の計上額が計画を超えたため、親会社株主に帰属する当期純利益が当初の予想を下回る見通しとなりました。

これらの理由等により、2018年7月5日に公表いたしました通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

3. 2019年2月期 配当予想数値の修正（2018年3月1日～2019年2月28日）

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (2018年4月12日発表)		16円50銭	33円00銭
今回修正予想		13円50銭	30円00銭
当期実績	16円50銭		
(ご参考) 前期実績 (2018年2月期)	16円50銭	16円50銭	33円00銭

4. 配当予想の修正の理由

当社は、企業の成長と収益力向上が株主の皆様の利益に結びつくものと考えております。この方針に基づき、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要施策と位置づけ、安定した配当の実施に努めてまいりました。

しかしながら、当期の期末配当金につきましては今回の業績予想の修正に伴い、誠に遺憾ではございますが、2018年4月12日に公表いたしました前回予想から3円減配の1株当たり13円50銭とさせていただき、中間配当金を含めた当期の年間配当金は1株当たり30円とすることを予定しております。

なお、本件につきましては2019年5月28日開催予定の当社第57期定時株主総会に付議する予定です。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上